

環境配慮個票

事業名	農村地域防災減災事業	地区名	口目ノ川池	受益面積	4.3ha
関係市町村名	四万十町	予定工期	令和8年度～令和12年度		
総事業費	469,000千円	R8年度以降事業費	469,000千円		
総事業量	ため池改修 1池 測量試験費 1式 用地買収補償費 1式	R8年度以降事業量	ため池改修 1池 測量試験費 1式 用地買収補償費 1式		
マスタープランの区分	環境配慮区間	自然公園等の指定	無		
既存資料による重要種の情報の有無	有 (R7 環境調査資料)				
周辺の環境	<p>本地区は、高知県西部の四万十川中流に位置している。地形は、一般的に山岳・丘陵地帯で構成され、約9割が森林地帯となっている。その間を清流四万十川が東から西に向かって流れている。気候は、四季を通じて温暖で、豊かな自然環境と相まって第1次産業を中心に発展してきた。農業では、温暖な気候、地域の立地条件を生かし、水稻を中心に冬春ピーマン等の露地野菜、ショウガ、ニラ等の施設野菜が主要作物となっている。</p>				
地区の環境の特性	<p>・概要 本地区（目目ノ川池）は、標高300～400m程度の山地を北へ開析する谷に築堤された山谷池となる。当該ため池の北には若井川及びその支流が網目状に広がり河川の流域には小規模な沖積低地が分布し、主に田畑として利用されている。</p> <p>・植物 現地調査を行った結果、本地区で確認された植物は、48目94科276種であった。 重要種は、〇〇（環VU、県注）、△△（環NT、県NT）の2種が確認された。</p> <p>・昆虫類 現地調査を行った結果、本地区で確認された昆虫類は、6目13科25種であった。</p> <p>・魚類 現地調査を行った結果、本地区で確認された昆虫類は、1目1科2種であった。 重要種は、□□（県NT）の1種が確認された。</p> <p>・両生類 現地調査を行った結果、本地区で確認された両生類は、1目1科1種であった。 重要種は、〇〇（環NT）の1種が確認された。</p> <p>・鳥類、爬虫類、甲殻類 現地調査を行った結果、本地区で確認された鳥類は、3目5科5種であった。 現地調査を行った結果、本地区で確認された爬虫類は、1目1科1種であった。 現地調査を行った結果、本地区で確認された甲殻類は、1目1科1種であった。</p>				
配慮すべき事項	<p>①適地への移植(植物) ②一時保護(魚類) ③保護移動(両生類)</p>				
配慮方針	<p>①表土を取り置きし、工事完了後に表土として戻す。 ②一時的に魚を保護できる池を設置し、工事完了後に池に放流する。 ③確認地点の全体的な改変を行う場合、事前に適地へ移動する。</p>				